

## 成田会長メッセージ

「ルールに関しては、今の時代に合ったものを試していかないといけないと思います。自分も国際イベントやヨーロッパの大会にも出場してきた経験もあって、国際的に受け入れやすい、誰にでもわかりやすい、一般的な採点のしやすさが必要と思います。（停止を5点ではなく3点にすると）安全面でも緊急停止がしやすくなり、転倒を防ぐこともあるでしょう。ただ、スポーツとして、トライアルは前に進んで行くもの。自分が有利な状態で自然に挑むのではなく、練習なしの本番（大会でセクションを走れるのは1度だけ）という状態で、思った通りにいけるのが面白い。常に前に進んで行く時の、失敗するリスク。それがゲームとして面白い。自分を敢えて厳しい立場におく、トライアルの根本的な精神は、深くやるほどよくわかります。誰かが走った跡を地ならししない、というマナーも、地ならしをしたら行けるからです。不確実なことを受け入れて、チャレンジするのがトライアルなのです。不安でも、それを楽しむくらいの気持ちで。自然が相手なので、気象条件の有利・不利もありますが、それを受け入れた上でやるスポーツなのです。自然への畏敬（いけい）の念をちゃんと持った上で、自分を敢えて厳しい条件で試す。それこそがトライアルで、やる前にクリーンできることがわかっていたら、面白くないですね。それでは選手の皆様、規則書の採点方法をよく理解して、スポーツマンシップにのっとり、潔い相互採点を実施して、新しいルールでのイーハトーブトライアルを満喫してください」

## 新採点方法

第43回を迎えた「出光イーハトーブトライアル大会」は、セクションでの採点ルールが変更となります。

採点方法は「0・1・2・3・5点」となります。

これまで停止は5点としていましたが、停止は、3点となります。また、4回以上の足着きはこれまでは4点としていましたが、3回以上は3点となります。ノーストップ・ルールは変わりなく、足を着く、着かないにかかわらず、バイクの前進が止まると3点となります。0点（クリーン）は、足着きなし・停止なし。1点は、足着き1回。2点は、足着き2回。3点は、足着き3回以上・停止。5点は、転倒・後退・全ての失敗（足着き停止エンスト・前後タイヤ以外の接地エンスト・セクション外へ出る・他者に支えてもらうなども失敗となる）といたします。

バイクのトラクションを掛けるためのタメ（一瞬停止に見える時）は停止とは見ませんが、明らかなスタンディングは停止とみなしてください。フロントを振る行為は後退していなければ可とします。

近日中に動画をアップしますので、参考としてください。